



令和元年 8 月 26 日

岩倉のすべての子どもたちが
心身ともに健やかに成長できる環境をもとめる請願書
(おたふくかぜの予防接種)

岩倉市議会議長 梅村 均 殿

請願団体 岩倉市立保育園父母の会連絡会

代表者 坂井田 聖

住所 岩倉市

(他 人)

紹介議員 岩倉市議会議員

木村冬樹

柳谷規子

黒川武

堀 巖

宮川 隆

【請願趣旨】

今回父母の会で行ったアンケートで、おたふく風邪ワクチンの予防接種費用補助拡充を要望している声が多数見受けられました。

おたふく風邪は耳下腺炎や無菌性髄膜炎、卵巣炎、精巣炎、難聴など併発する合併症が多く、合併症の発症割合も高い疾患です。おたふく難聴は発症率は低い傾向にありますが、約 1000 人に 1 人の割合で発症し、特徴として高度難聴に至り、治療してもほとんど治る見込みがないため後遺症に苦しむ人が多くみられます。

おたふく風邪のワクチンは 1989 年から定期接種を導入していましたが、副反応として無菌性髄膜炎が多く発生したことを受け、1993 年に中止となった経緯があり、上記に述べた症状がみられるにも関わらず、現在は任意接種のため 40% 程度の接種率にとどまっています。なお、副反応の無菌性髄膜炎については、1 歳の誕生日を過ぎてすぐに接種することで発症しにくくなることが分かっ

てきており、自然におたふく風邪を発症した場合に比べて 100 分の 1 程度の発生率となっています。そのため、厚生労働省の予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会でも、定期接種化が望ましいとの意見が出されており、接種率を上げ、おたふく風邪の流行を防ぐことが重要と考えます。

現在、おたふく風邪ワクチン予防接種は 1 歳を過ぎてすぐと、集団生活が始まる前の 5～7 歳に接種することの 2 回接種が推奨されており、費用は各医院により異なり 1 回の費用が 4000 円から 7000 円程度と高額となっておりますが、費用の助成をしていただくことで接種率の向上が見込めます。

以上のことにより、次のとおり請願します。

【請願項目】

おたふく風邪ワクチンの予防接種の費用補助を求めます。